

タイムラインに基づき実施する情報共有について

平成30年2月26日

荒川下流域を対象としたタイムライン（事前防災行動計画）専門部会
ブロック検討会

1. タイムラインに基づき実施する情報共有

- タイムラインのレベルと目安の時刻に沿って、関係機関に提供される主な情報

| レベル | 目安の時刻 | 提供される主な情報 | ML (メーリング リスト) | 情報共有 ツール | HP Twitter |
|-----------------|--------------------|---|----------------------|-------------|---------------|
| レベル1-1 | -120H | 関係者へ荒川下流TL適用の伝達 | ● | ● | |
| 各レベル | 各目安の時刻 | 外部への広報(HP・twitter) | | | ● |
| 各レベル | 各目安の時刻 | 荒川下流TL上のレベルと目安の時刻を関係者へ伝達 | ● | ● | |
| -96H以降 の各レベル | 各目安の時刻 | 対応状況の共有 (取り組んだこと、見送ったこと) | | ● | |
| レベル1-2 | -18H | 荒川水位予測の伝達 (熊谷、治水橋、岩淵水門(上)水位観測所) (以降毎正時) ※タイムラインが想定するハザードで、最初に洪水予報(氾濫注意情報)が発表される 時期を想定 | ● | | |
| レベル1-2 | | 岩淵水門上下流部の高水敷状況伝達 | ● | | |
| レベル1-2 | -14H | 関係機関に岩淵水門ゲートの閉操作開始の伝達 | ● | | |
| レベル 5 | 0H以降のXH (氾濫発生時) | 今後の氾濫予測の検討・伝達 | ● | | |

- 本資料では、**赤字部分**を対象に詳細を説明

【レベル1-2：-18H】荒川水位予測の毎正時の伝達

情報提供方法：荒川下流タイムラインメーリングリスト宛のメール
 ※毎正時(1時間ごと)に予測情報を伝達

<表題>

【荒川下流TL:レベル1-2(-18H)】荒川水位予測 台風第〇号 / 荒川下流河川事務所

<本文>

荒川下流タイムライン(拡大試行版)

関係者各位

← 荒川下流河川事務所 防災企画室 ○○

お世話になっております。

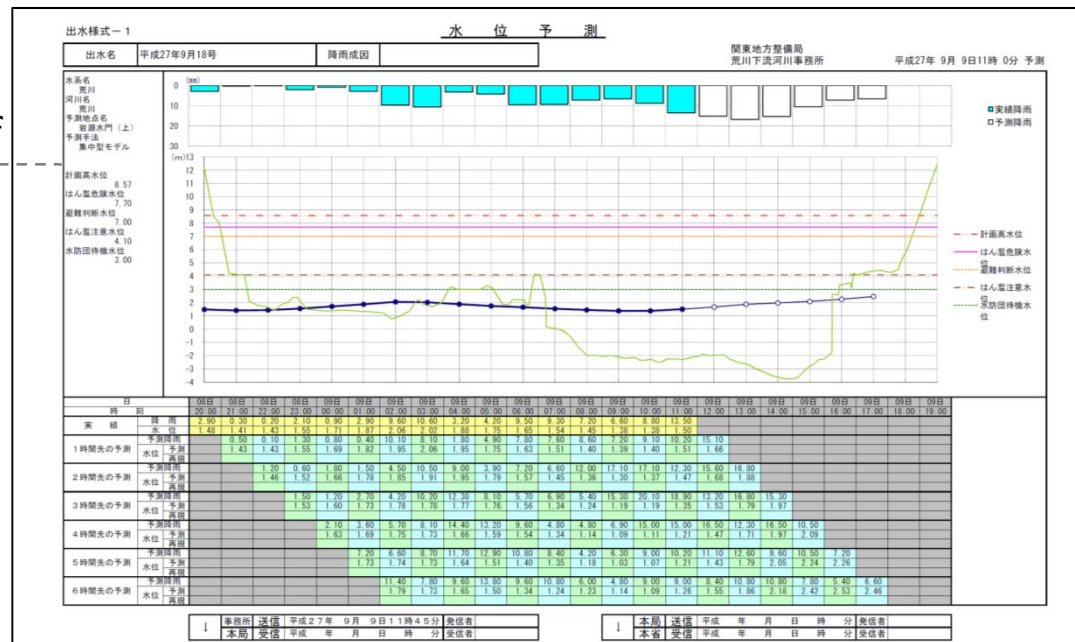
台風第〇号について、今後予想される降雨に伴う河川水位の上昇が見込まれるため、荒川の水位予測(○○:水位観測所名)をお伝えします。

<添付ファイル>

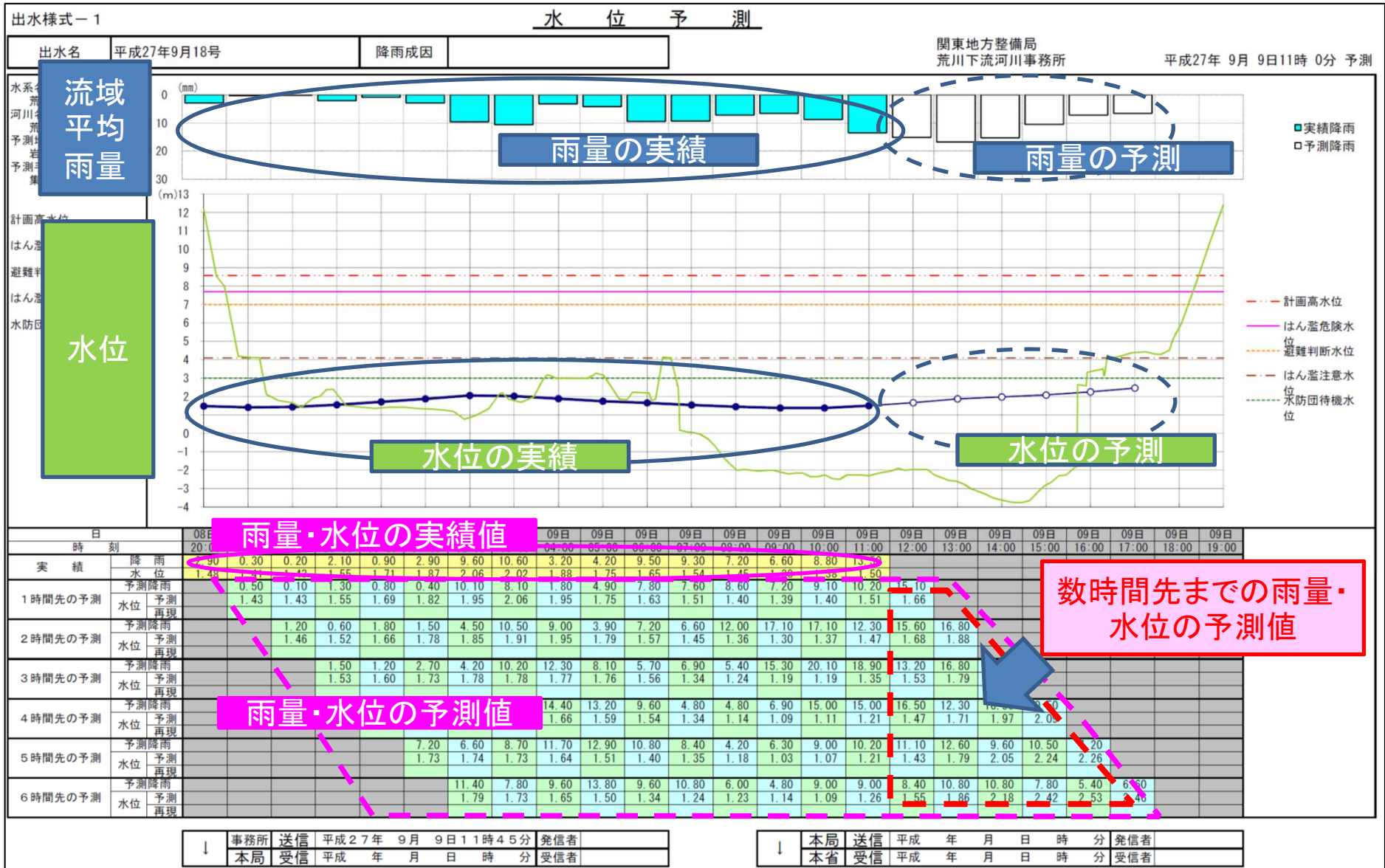
出水様式-1

水位予測(○○:水位観測所名).pdf

⇒次頁で、「水位予測の様式の見方」について説明します



【レベル1-2：-18H】荒川水位予測の毎正時の伝達



【レベル1-2：-14H】

関係機関に岩淵水門ゲートの閉操作開始の伝達

情報提供方法：荒川下流タイムラインメーリングリスト宛のメール

- ・閉操作の条件：岩淵水門(上)水位観測所でA.P.+4.0mに達した場合
- ・近30年間で4度しか閉操作を行っておらず、事態の深刻さを示す
平成 3年9月 台風第18号、平成11年8月 熱帯低気圧
平成13年9月 台風第15号、平成19年9月 台風第9号
- ・平成29年10月 台風第21号は閉操作の検討がなされた

<平成11年8月の状況>

荒川河口から21km付近



【レベル5】今後の氾濫予測の伝達

情報提供方法：荒川下流タイムラインメーリングリスト宛のメール

【表題】

【荒川下流TL:レベル5】氾濫予測 台風第〇号

／荒川下流河川事務所

【本文】

荒川下流タイムライン(拡大試行版)

関係者各位

← 荒川下流河川事務所 防災企画室 ○○

荒川〇k付近(〇地先)の堤防が決壊しました。今後の氾濫予測をお伝えします。

【添付ファイル】

荒川氾濫想定情報.pdf、破堤点の想定最大浸水深図.pdf

荒川はん濫想定情報 (第1号)

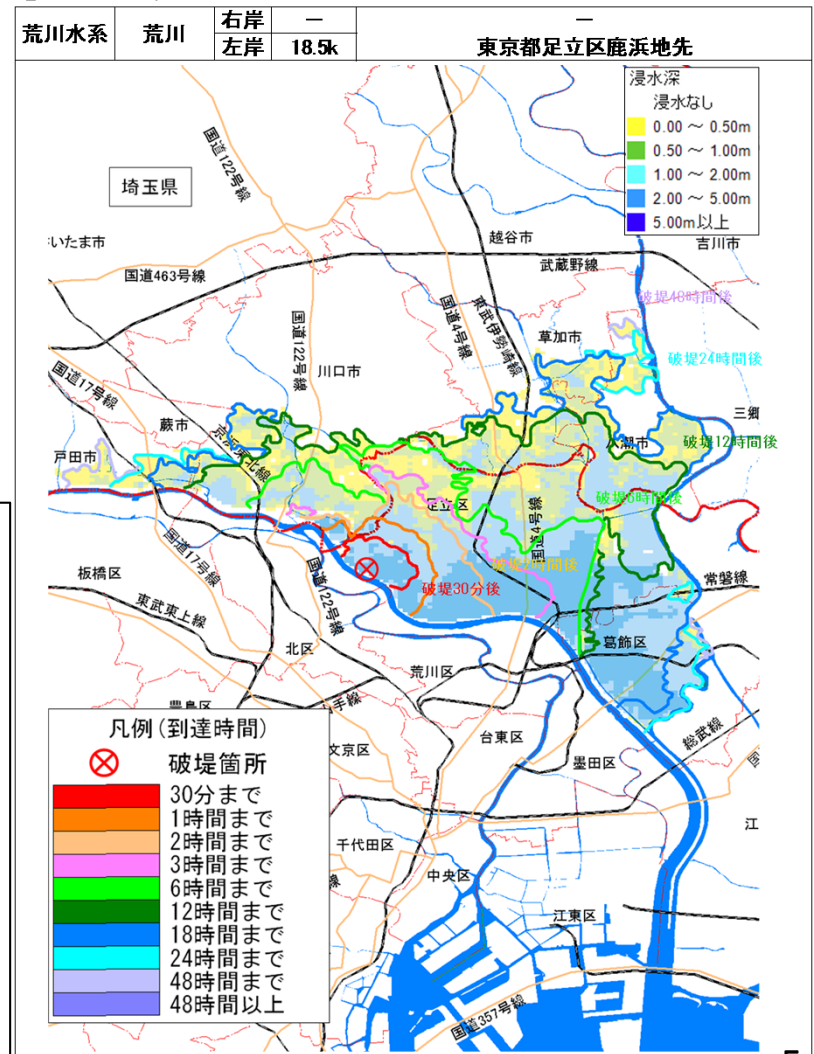
荒川18.5k付近(東京都足立区鹿浜地先)堤防決壊に伴う、はん濫による浸水が想定される浸水区域、浸水深、はん濫水の到達時刻は以下の通りです。※1

※1 はん濫による浸水が想定される区域、浸水深、はん濫水の到達時刻は、特定の条件下に基づく計算結果の推定ですので、気象条件や堤防の決壊の状況によっては、実際の浸水状況と異なる場合があります。

| 浸水想定箇所 | 想定到達時刻※2 | 想定最大浸水深 | 想定最大浸水深時刻※2 |
|--------|--------------|----------|---------------|
| 川口市 | 約1時間後(約●時頃) | 約2m ~ 5m | 約3時間後(約●時頃) |
| 戸田市 | 約12時間後(約●時頃) | 約1m ~ 2m | 約20時間後(約●時頃) |
| 草加市 | 約6時間後(約●時頃) | 約1m ~ 2m | 約10時間後(約●時頃) |
| 八潮市 | 約7時間後(約●時頃) | 約1m ~ 2m | 約9時間後(約●時頃) |
| 足立区 | 到達済 | 約2m ~ 5m | 到達済 |
| 葛飾区 | 約3時間後(約●時頃) | 約2m ~ 5m | 約5時間後(明日約●時頃) |

※2 はん濫発生からの時間を示しています。

① 想定最大浸水深図(洪水到達時間)

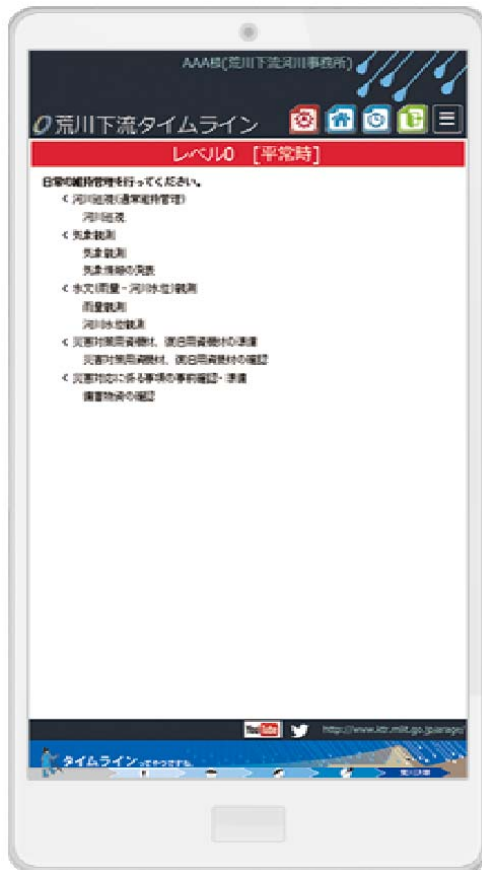


※200年に1回程度起こる大雨等の特定の条件下により想定した資料となりますので、実際の浸水状況と異なる場合があります。

2. 情報共有ツール

- ・ 目安の時刻-96Hより、各レベルにて設定されている<対応状況の共有>
- ・ TL運用を踏まえ、またアンケートやヒアリングでも多く聞かれた意見・課題等から、以下の5つの機能を有する情報(状況)共有ツールを開発

追加部分



- ① 現在のTLレベルが容易に把握できること
- ② 利用者全員が最新のTL実施状況を確認できること
- ③ 現時点における自機関の実施すべきことが把握できること
- ④ 自機関の実施状況が容易に確認できること
- ⑤ 他機関の実施状況が把握できること

確認方法：ウェブブラウザよりURLに接続し、ログイン
U R L : <http://www.cld.tokencon.co.jp/timeline/loginExe.do>

I D : 別途記載 / パスワード : 別途記載

2. 情報共有ツール

■ 情報共有ツールの使い方

ログインまでの流れ

1. ウェブブラウザより、情報共有システムアドレスにアクセス
2. IDとpasswordを入力し、「ログイン」ボタンをクリック



ID：別途記載

※個別に連絡予定

パスワード：別途記載

※個別に連絡予定

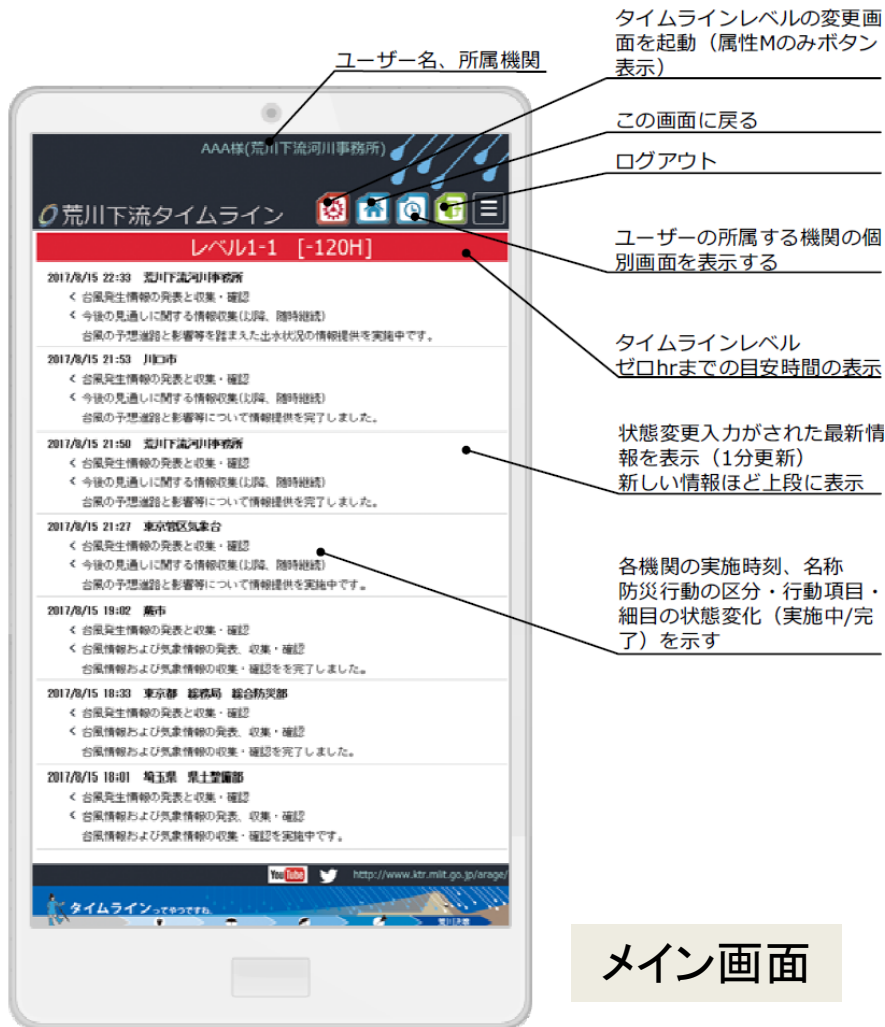
■ 利用者ごとの権限

| ID別の権限 | TLのレベル設定 | 情報入力 | 情報閲覧 | 想定するユーザ |
|---------|----------|------|------|---------------------------|
| 情報発信ユーザ | ○ | ○ | ○ | 荒川下流河川事務所 調査課職員 |
| 情報入力ユーザ | | ○ | ○ | 関係機関 TL運用代表者 |
| 情報閲覧ユーザ | | | ○ | その他のユーザ (将来的には一般住民を想定) |

2. 情報共有ツール

■ 情報共有ツールの使い方

1. メイン画面と個別画面の2画面による表示システムの解説
2. 自機関における「未着手」「実施中」「完了」項目の入力方法
3. 他機関における防災行動項目実施状況・その他の情報確認方法



2. 情報共有ツール

■ 情報共有ツールの使い方

1. メイン画面と個別画面の2画面による表示システムの解説
2. 自機関における「未着手」「実施中」「完了」項目の入力方法
3. 他機関における防災行動項目実施状況・その他の情報確認方法

実際の画面を使ってご説明致します。

<http://www.cld.tokencon.co.jp/timeline/loginExe.do>

2. 情報共有ツール

■ 利用環境に関するアンケート

検討会後にアンケート実施

1. タイムライン情報共有ツール(以下、ツール)を利用するとなった場合、情報取得に最も利用したい端末は何ですか。

- スマートフォン等の携帯デバイス
- 災害対策室等に設置される専用PCなど
- 執務・業務用PC
- その他

2. 執務・業務用PCや災害対策室等に設置される専用PCを使用される場合について

- PCはインターネットへの接続可能ですか
- インターネットを使用する際のブラウザは何ですか
- インターネットを使用する際の特別な制限はありますか

■ 体験利用に関するアンケート

検討会後にアンケート実施

1. ツールを以下の期間、デモ体験を利用いただけます。
別途お知らせするID・passwordを使ってログインして実際に使っていただき、感想・要望をお知らせ下さい。

体験期間：平成30年2月26日～3月2日

レベル（目安の時刻）設定：レベル2（-11H）

- TL適用時及び適用終了時の通知が必要
- TL上のレベル(目安の時刻含む)設定の通知が必要
- 適用中の他機関の防災行動の実施状況が分かるとよい
- 自機関・自部局において実施すべき行動の通知があるとよい
- TL自体の表示があるとよい
- その他 など